

# 駿東新聞

第100号

H27, 6月

発行人 → 医療法人社団

すんとおる



沼津市高沢町6-1

TEL → 055-922-8855

URL → <http://www.sunto-seikei.jp>

だんだん暑くなってきました☀️ 皆さん体調は崩されていないでしょうか!? 外出する際は、日焼け対策・熱中症対策を忘れずに!! また、昼と夜の温度差がある日もあるので、一枚上着を持って出かけるなどしましょう。

さて今日は院長のお話です。

院長の

## 超音波検査

院長 清水学

みなさん、こんにちは。患者さんと職員をつなぐかけ橋として創刊した駿東新聞が、今号で100号となります。月1回の発行ですから、9年目に入ることになります。これから色々なテーマで続けていきたいと思っております。

さて、今月号では関節リウマチの診断ツールとして、超音波検査装置を導入したことをご案内いたします。

関節リウマチは未だに原因不明の難病であり、発症早期に診断を下すことが難しいことが多いです。突然、関節の痛みが出て腫れてきた場合、関節リウマチが疑われますが、その初期では、血液検査でもレントゲン撮影でも正常であることがありえます。そのような症例は、従来では関節リウマチの診断がつかず、有効な治療ができていないことがありました。しかし、超音波検査装置を用いれば、関節リウマチに特徴的な関節の腫れを、病的所見として早期に捉えることが可能になりました。超音波ドップラー検査により腫脹関節の病的な血流増加を調べるわけです。これにより発症早期の関節リウマチに対して、確実に診断を付けることが可能となり、有効な治療を早期から開始することが可能になりました。



↑ 赤いところが炎症がある。

関節リウマチ以外でも、肉離れやアキレス腱断裂、軟部腫瘍など、骨ではない組織(軟部組織)の外傷、疾病の診断に威力を発揮します。診察室に置けるぐらいコンパクトな装置で、他の施設に検査予約をする必要がないので、その場で気軽に検査することが出来ます。

関節の腫れが続く人は、院長までご相談ください。

※ 特定健診実施中です!!